

とっておきの

奈良

Vol. 36

橿原市八木 地区

古道が交わる町で 旅籠に祭りに 今も継がれる心あり

古代からの幹線道路、中街道(下ツ道)と横大路(伊勢街道)。2つの古道が交差する「古代の十字路」が八木の町の「札の辻」です。江戸時代には豪華な旅籠が立ち並び宿場町として栄え、今なお、界わいには当時の風情が色濃く残ります。

そのシンボルが、札の辻に立つ旧旅籠「東の平田家」。大階段が残る端麗なこの宿は、今年7月から町の人々の尽力で「八木札の辻交流館」として再生。人々の交流の場として公開されています。かつて町の人々が無償の心で旅人をもてなしたという「接待場」も用意。無料で湯茶がふるまわれ、往時に想いを馳せつつ、古道歩きの疲れをほぐすことができます。

昔ながらの情緒と伝統を大切に。そんな町の人々の思いが華やかに形になるの



- ① 八木札の辻交流館
- ② 芭蕉の句碑
- ③ 愛宕神社
- ④ 春日神社

が約300年以上の歴史を持つ「愛宕祭」です。

町の各所に祠を設け、町家の土間などに立山と呼ばれる飾りものをお供えします。その年を象徴するような、人物や風景などを人形などであらわす立山はユニークなものが多く、町家のしつらえも楽しめる。あつて観光客にも人気。

夜店が立ち並び、メイン会場では盛りだくさんの催しが行われます。かつて旅人を見送る際に踊ったという江州音頭の盆踊りも、祭り気分を盛り上げます。



「愛宕祭」

屋台が並び祠に立山に盆踊り。伝統ある文化も楽しめる愛宕祭。昨年は3日間で3万人以上が祭りの風情を楽しんだ。

8月23日(木)・24日(金)・25日(土)
18時~21時

メイン会場: 晩成小学校、春日神社

愛宕祭奉賛会 ☎0744-23-6943



「松尾芭蕉の句碑」

八木地区公民館の前に建つ句碑。八木に泊った折に詠んだとされる、「草臥れて 宿る此や 藤の花」の句が刻まれている。



「八木まちなみ保存会」

伊勢参拝も大和巡りも西国巡礼も、昔の旅人は札の辻を歩いたものです。周辺には、歴史ある古民家や寺社など名所旧跡がたくさんあります。そんな地区の歴史や継承されてきた文化について学び、交流を重ねて広報をし、地区の発展につながるよう、会員約20名が活動しています。

(会長: 藤井 漢会長)

「八木 札の辻交流館」

(市指定文化財・東の平田家)

いにしへのクロスロード「札の辻」に立つ、2階からは往時の風情が残る辻の通りが見渡せる。

9時~17時(月曜休館)

橿原市北八木町2丁目1-1

☎0744-26-2684



「西国三十三所名所図会 八木札街」

1848年 晩鐘成 著 (国立国会図書館蔵より複製)

中央の建物が東の平田家。八木について「四方往返の「十字街」なれば(中略)至って賑わし」と記された。